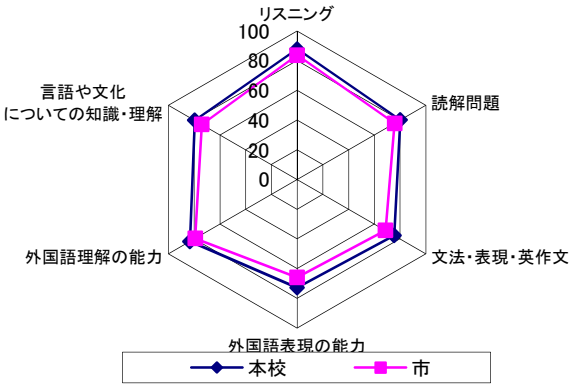
宇都宮市立豊郷中学校 第１学年【英語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	リスニング	87.8	83.8
	読解問題	80.1	75.7
	文法・表現・英作文	75.3	68.6
観点別	外国語表現の能力	72.9	65.9
	外国語理解の能力	83.4	79.2
	言語や文化についての知識・理解	79.6	74.2



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
リスニング	この領域の本校の平均正答率は87.8%と宇都宮市の平均を4.0ポイント上回る結果であった。 JTEやALTの後についての教科書音読や口頭練習を通してインプット、ペアでの対話練習などのアウトプット活動を多く行うことで、音声面に関して定着度が上がっていると考えられる。	引き続き多くのクラスルームイングリッシュを用いた授業を心がける。音声面のインプットのチャンスを多く設定していくことで、数多くの英語の音に慣れ親しむようにする。同時にインプットした言語を発音するアウトプットの場面を数多く設定させていくことで定着を図る。
読解問題	この領域の本校の平均正答率は80.1%と宇都宮市の平均を4.4ポイント上回る結果であった。 毎回の授業で予習を行うことが習慣化しており、自主的に単語練習を行う生徒も多い。読み取りの土台となる語彙力が身についていると考えられる。下位の生徒に関しては、基本的な語彙と文法事項の定着が課題である。	残念ながら予習を行わず授業に臨んでしまう生徒は、知識が定着しないように思える。引き続き予習を行わせるとともに、単語練習の奨励をする。また、教科書本文を扱う際には、指示詞や代名詞の内容を明らかにしたり、単語とのつながりをいかして本文を読み取る作業を行うなどして、読み取る力の基礎をしっかりと育てていく。
文法・表現・英作文	この領域の本校の平均正答率は75.3%と宇都宮市の平均を6.7ポイント上回る結果であった。 授業でのALTとのTTで多く行っている言語活動を楽しみにしており、英語のフレーズを授業終了後にも口にするなど、英語に慣れ親しもうとする生徒も多い。音声面での表現力が高いので、書くという作業にも臆することなく取り組んで知る。	表現することに対する積極性があるので、対話や作文などの活動に関しては、間違いを恐れずに表現しようとする態度を賞賛し、さらに育てていく。 今後は単語テストによる語彙力の強化と合わせて、問題演習による文法知識の定着を図り、正しい文をアウトプットできるようにする指導に力を入れていく。